

# 東日本大震災から 10 年経った日に

## 小宮 一仁

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震は、日本の近代社会が嘗て経験したことの無い未曾有の大災害をもたらしました。震災から 10 年、復興に向けた弛まない努力が続けられていますが、未だ 4 万 1 千人以上の方々が避難生活を余儀なくされています。改めて数多くの犠牲者に哀悼の意を表するとともに、今なお辛く厳しい状況におかれている被災者の方々に心からお見舞いを申し上げます。

日本では、災害というと地震や洪水や土砂崩れ等の自然災害

を想像する人が多いのではないのでしょうか。しかし、グローバル化された社会では、自然災害だけが脅威の対象ではありません。17年前の3月、私はアメリカ合衆国の国務省で開催された国際災害情報専門家会合に同行しました。そこでは、自然災害に加えて、伝染病や飢餓やテロ等についても議論が行われました。そして、それらを防止するために、情報通信技術を活用した情報伝達や地球観察、そして正しい知識と行動のための教育とトレーニングの重要性が示されていました。全地球が一致団結して安全で安心な世界を構築していかなければならないということが既に謳われていました。

これらは、今我々が置かれている状況下でこそ、一番大切なことではないか思います。人は、協力が競争よりも価値があるということを理解しなければなりません。人類は協力して、個人、地域、国を問わず、一人一人が地球規模の視点に立ち課題を解決しなければなりません。

令和3年3月11日

2021 Kazuhito Komiya